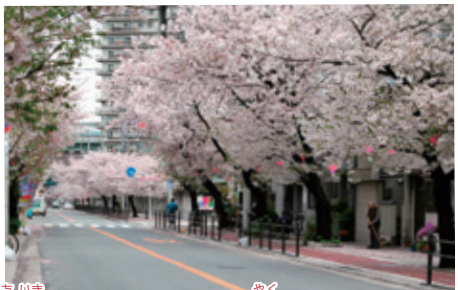
あそこにもここにも!?

港区・花の見どころ

港区には、桜をはじめとする花の見どころがいっぱい。
夏は、まち中にみんなで咲かせるひまわりが見逃せません！

①桜通り



地域の人たちが手がける約100本のソメイヨシノとサトザクラが並ぶ、約800mの桜並木。2011(平成23)年、大阪市の都市景観資源登録。

②市岡せせらぎの里

市岡下水処理場のシンボルツリーであるサルスベリをはじめとした、40種類以上の樹木や花を楽しめる緑ゆたかな遊歩道。

③八幡屋公園

世界三大花木「ジャカランダ」、芝生広場まわりのソメイヨシノ、地域の緑化グループ「港区花みどり友の会」の花だんが見どころ！

④天保山公園

ソメイヨシノと、その少し前に咲くコウヨウザクラの赤い八重の花が美しい、海の近くのかくれた花見の名所。

【p.48-49「調べてみよう！②」】 大阪市内約 3000 地点での雨の強さを調べます。

⑤花の海遊ロード

地下鉄「大阪港」駅から海遊館にむかう大通り。港区の企業や地域の人たちが手がけるプランターの花、フットライトやイルミネーションで華やぎます。

⑥弁天花づくり広場

四季折々の花の苗を種から育て、区役所や小学校などに植えて、まちをきれいにかざる地域活動の場所。ほかにも区内に5ヶ所、ミニ花づくり広場があります。

⑦港区の花、「さくら」と「ひまわり」

「弁天町」駅前にある、区の花「ひまわり」をモチーフにした大きな壁画。

港区の花は「さくら」と「ひまわり」。1988(昭和63)年に、区民のみんなから港区のイメージに合う花を募集し、決まりました。

■さくら　日本を代表する花であり、港区には桜の名所がたくさんある。

■ひまわり　太陽にむかってまっすぐ伸びていく姿が、発展する区のイメージに合う。

港区のキャラクター、みなりんです！ 区の花「ひまわり」の20周年を記念した2008(平成20)年生まれ。好きなものはお日さまで、趣味はひなたぼっこ。デザインも名前も港区のみんなが決めてくれたんだよ。

調べてみよう！①

港区の花は「さくら」と「ひまわり」。大阪市の花は何？

調べてみよう！②

市岡せせらぎの里には、花や緑以外に、歴史のロマンをあじわえる水路があるらしい？

まちなかの身近な歴史スポット、神社仏閣

港区には、たくさんの神社仏閣があります。
その歴史を感じながら、建物をめぐってみよう！

① 築港高野山釈迦院

大相撲の大阪場所のときには、合宿所になることも。稽古の見学ができるよ！

1910(明治43)年に建てられた、弘法大師のお寺。弘法大師が勉強のために唐へ渡ったときの船出の地として、河内「弘川寺」にあった釈迦院がうつってきました。戦争で焼けてしまった旧寺院は、今の約16倍ととても広く「東の四天王寺、西の築港高野山」といわれていました。

② 三社神社

1698(元禄11)年、市岡新田の開発工事の安全と成功を祈って、波除4丁目に神様をまつったのがはじまり。このとき、3柱の神様をまつったことが「三社神社」の名前の由来になっています。弁天1丁目にうつった後、今の場所に。

【p.50-51「調べてみよう！①」】大阪市の花は「さくら」と「パンジー」。1987(昭和62)年、市民のみなさんからの公募で決まりました。
【p.50-51「調べてみよう！②」】豊臣秀吉が大阪のまちにつくった下水溝(背割下水、または太閤下水)を再現した水路があります。

③三津神社

1764(明和元)年、石田新田の開発工事の安全と成功を祈り石田皇大神宮としてはじまる。田中産土神社、八幡屋住吉神社を合わせてまつり、三津神社に。

④三先天満宮

1835(天保6)年、池田新田の開発者・池田屋大吉が開発工事の成功を祈って、今の港南公園のあたりに神様をまつったのがはじまり。

⑤福崎住吉神社

漁村だった北福崎新田(今の福崎1丁目)の開発工事の安全と成功を祈り、1835(天保6)年にはじまる。1915(大正4)年、尻無川の改修のため、今の場所に。

⑥港住吉神社

1842(天保13)年、船の安全を祈って天保山につくられ、1906(明治39)年に住吉大社の末社に。1864(元治元)年に移転したあと、1917(大正6)年に今の場所に。

調べてみよう！①

築港高野山釈迦院にある「おもかりさん」。自分で決めた日数お参りをすると、願いごとがかなうらしい？

調べてみよう！②

天保山にあった港住吉神社。その後2回、場所をうつしましたが、その理由は？